

三和レジン工業株式会社

発泡シートや緩衝材の加工
から応用まで幅広く対応

納期 相談
企画力 自信有
コスト 相談
オンライン 技術
メイドイン ジャパン
試作可 小ロット
量 対応



厚さ6mmでもカールしないシート

業務内容
多素材のシート加工・
ラミネートでニーズに対応

大手メーカーが発売している緩衝材を始めとする発泡ポリエチレンシートの加工や熱ラミネート、カット等を手掛ける三和レジン工業。扱う素材はポリエチレン系フィルム以外に、OPPやPETからアルミ蒸着、PEクロスと幅広い。

「必要とされているユーザーに必要なものを必要な時にお届けする」が信条の同社では豊富な原反在庫と複数の加工設備で、迅速にニーズに対応。さらに異素材のラミネートや薄物素材の加工等の受注生産も可能だ。

強み
自ら機械を改良し
難加工を可能に

発泡シートは薄くカットすると斜めになるが、昆田社長が設備を改良し、厚さ0.5mmから6mmまで、幅は2000mmまでの加工を可能にした。また、異素材のラミネート加工は難しく、取り扱う業者は少ない。同社では素材に合わせて自在にコントロールできる赤外線ヒーターや独自の高温ターボバーナーによる熱やせのない複合素材の貼り合わせに成功した。

一方で、厚物の加工にも力を発揮。通常厚物の発泡にフィルムを貼り合わせるとカールするという問題点があったが、自社の技術で解決。同社のクッションシートはカールしないため顧客の安全性が確保できると評価され、NHKのイベントの座席シートに採用された実績を持つ。さらに5mmの発泡シートを最大8層まで貼り合わせる技

術も開発し、間仕切りの緩衝材や断熱材等に利用されている。

応用力
トライアンドエラーで
他社にない技術を開発

「もつといいものができないか」、昆田社長の目はいつも輝いている。数々の設備の改良には数年を要し、その間のトライアンドエラーは数えきれないという。現在力を入れているのは、ポリエチレンの製袋だ。ポリエチレンは断熱性があるためにつきにくく3mmの厚さが限界だったが、同社は5mmの厚さまでシールする技術を開発。温度が伝わりにくい素材の特性を利用して、保冷袋や遮熱のカーシールド等、自社製品をつくり出している。

今後の展望
付加価値の高い製品を
顧客目線で提供

3Sに取り組む企業は多いが、機の引き出し等を整理するシートを必要と大きさに切るのは意外と困難。そこで自社の技術を応用し、切れ目の入ったシートを開発。子どもでも手で型を抜けるほどの扱いやすさが特長だ。すでに「3Sスマートシート®」として実用新案を取得し、製品化を進めている。モニター

の顧客からは、「これまでの半分以下の時間でつくれる」と好評だ。今後も顧客目線で付加価値の高いものを世に出したいと語る。



自社製品「3Sスマートシート®」

COMPANY PROFILE

三和レジン工業株式会社

大阪 24

当社の
歴史

昭和46年に創業、当時は梨の緩衝用有孔シートをつくっていました。以来、発泡ポリエチレンシートの加工を中心に営業しています。創業した父からは「逆もまた真なり」という逆転の発想を常に持つように仕込まれました。そのおかげで作業効率の改善や製造方法の改良等、独自の工夫を重ねてきました。それが現在の弊社の強みになっているのだと思います。

常に現状に満足しないで、新しい価値を生み出していきたいですね。

代表取締役社長 昆田 武久さん



■主な事業内容

発泡ポリエチレンシートの加工・販売等

■主な取引先(納入先)

発泡樹脂製造メーカー、気泡緩衝材メーカー等

住所/〒573-0116

枚方市杉責谷1-29

TEL/072-858-3023

FAX/072-859-3025

創業/昭和46年1月

設立/昭和46年11月

資本金/1,000万円

従業員/32名

<http://kansyouzai.jp/>